

## 稲沢市総合計画審議会〔第9回〕会議録

【日 時】平成29年6月30日（金） 午後1時30分～4時

【場 所】稲沢市役所大会議室

【出席者】稲沢市総合計画審議会委員（敬称略）

出口勝実	稲沢市議会議員
杉山茂和	稲沢市議会議員
川合正剛	稲沢市議会議員
志智 央	稲沢市議会議員
渡辺ちなみ	稲沢市議会議員
朽本敏子	稲沢市議会議員
秀島栄三	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授
栗林芳彦	名古屋文理大学 情報メディア学部 教授
田中基夫	愛知文教女子短期大学 教授
小島洋一	稲沢商工会議所 副会頭
田中浩三	祖父江町商工会 会長
松岡重夫	平和町商工会 会長
大津幸博	愛知西農業協同組合 代表理事専務
青井 博	稲沢市教育委員会 教育長職務代理者
大島宏之	稲沢市医師会 会長
山内孝三	稲沢市社会福祉協議会 会長
柿沼 晋	稲沢市老人クラブ連合会 会長
鈴木恵理子	稲沢市子ども会連絡協議会 顧問
鈴木 忠	連合愛知尾張南地域協議会稲沢地区連絡会 議長
森岡庸晃	稲沢金融懇話会 幹事
平井直人	愛知県立稲沢高等学校 教諭
後藤清敬	名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 土木部建設課 課長
酒井律治	防災ボランティア稲沢 会長
各務容子	ママサポートぴよぴよ
定行加保里	公 募
坪内留美	公 募
永井美妃	公 募
中西 弘	公 募

〈事務局〉

加藤錠司郎	市長
篠田智徳	市長公室長
足立直樹	市長公室次長兼企画政策課長

吉川修司	企画政策課主幹
荻原幸雄	企画政策課主査
新見 巧	企画政策課主任

## 【議事次第】

- 1 あいさつ
- 2 協議事項
  - (1) パブリックコメントの結果について
  - (2) 稲沢市ステージアッププラン（本編）（案）について
  - (3) 稲沢市ステージアッププラン（資料編）（案）について
  - (4) 答申（案）について
- 3 答申
- 4 その他

### 1 あいさつ

[事務局]

定刻になりましたので、第9回稲沢市総合計画審議会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日、この会議の進行を務めさせていただきます、市長公室次長兼企画政策課長の足立直樹です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、市長公室長の篠田からあいさつを申し上げます。

[市長公室長]

本日は皆様大変ご多忙の中、第9回稲沢市総合計画審議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。これまで委員の皆様の多様な見地から貴重なご意見をいただきながら、総合計画案をまとめさせていただき、5月17日から6月9日までパブリックコメントを実施しました。本日はそのパブリックコメントでいただいたご意見についての対応や考え方をお示しし、最終的な総合計画案をまとめた上で、ご答申をいただきたいと存じます。ここに至るまで、委員の皆様の慎重審議に感謝申し上げます。本日の審議会が最終回の予定ですが、最後まで慎重審議賜りますようお願いいたします。

[事務局]

はじめに、事務局からご報告させていただきます。本日は貴審議会より市長への答申をいただく予定でございます。市長におきましては、他の公務により午後2時15分以降に出席する予定ですので、お断り申し上げます。

もう1点お断りをさせていただきます。本市におきましては、10月31日まで「さわやかサマー스타イルキャンペーン」を実施いたしております、職員はノー上着・ノーネクタイで執務を行っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、協議事項に移らせていただきます。会議の議事進行につきましては、稲沢市総合計画審議会条例第4条第3項の規定に基づきまして、会長が務めることとなっております。以後の議事の取り回しにつきましては、秀島会長にお願いしたいと存じます。

## 2 協議事項

### (1) パブリックコメントの結果について

＝ [事務局] ＝

【資料1 『稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）（案）』に対するパブリックコメントの実施結果』について説明】

[会長]

事務局からの説明が終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。

[委員]

資料1の30ページの94番に、100ページにもわたる資料が市民にとって敷居が高いという意見がありました。前回の審議会で、パブリックコメントを募集する際に概要版を掲載できないでしょうかと意見を述べさせていただきました。わかりやすくするためにパートごとに内容を提示されたと思いますが、それだけでは十分ではないと思います。今後、概要版を提示する予定があるのかをお尋ねします。主に職員の方が目を通される計画だとは思いますが、市民の方と共有すべき計画だと思っていますし、浸透させていくことが重要だと思います。

[事務局]

総合計画は様々なパートに分かれています。例えば、このパートではこういう内容が書かれています、ということ明記した上で、パブリックコメントを募集する形とし、概要版を作成する時間がない中で、大部な計画を少しでも分かりやすくするよう努めました。その旨、ご理解いただけたらと思います。

総合計画を職員に自分ごととして浸透させることも、今回の総合計画を策定した目的の一つです。これからアクション（推進計画）を策定しますが、先日、職員に対して説明会を行い、コンセプトについて説明しました。今後は各課と具体的な事業についてヒアリングを行う中で、総合計画ではこう書いてあるが担当課としてはどう考えているのか、という問いかけもしながら、アクションによってビジョン（基本構想）のコンセプトが実現するようアクションの策定を進めていきたいと考えています。

委員の皆様のお手元にある総合計画案につきましては、あくまでも内容についてご審議賜る資料ということで、視覚的な効果、イラスト等は最小限に抑えています。計画図書を作成する際には、例えば重点戦略などにつきまして、メリハリのあるデザインを施したいと考えています。

今後、計画図書の作成に取りかかりますが、概要版も作成し、全戸配布する予定です。

[委員]

資料1の11ページ23番のパブリックコメントにおいて、「若い人に名古屋市でなく本市に住んでいただくという計画ですが、わざわざ本市に住もうというほどまちに魅力があるとは思えない」という内容の意見があります。私はもともと名古屋市に住んでいて、多少の家賃の差であれば、やはり名古屋市内に住んでいたのではないかと思う部分はありましたので、この意見がとても理解できます。

意見の後半では、名鉄国府宮駅周辺の再整備策が具体的に書かれており、様々なアイデアを出してくれています。総合計画はとても幅広い計画ですので、名鉄国府宮駅周辺がどうなるのか、今まで私はイメージが湧かなかったのですが、この方の意見は、例えば、市が借りた空き店舗に若い人が参入して事業を行ったり、植樹をして緑を楽しみながら街を歩いたり、国府宮の参道でマルシェを開催したり、そうした具体的な提案を見たときにイメージができました。そのように整備されるのであれば自分も行ってみたいですし、直接関われるのであれば、そこに住んで、そうした事業に自分も参画しながらまちづくりを行ってみたいと思いました。

総合計画では細部まで示さないと思いますが、今後、名鉄国府宮駅周辺の再整備が議論される中で、こうした意見があったことを共有していただきながら進めてほしいです。また、他の様々な意見につきましても、共有していただきたいと思います。

[委員]

以前、シティプロモーションについては、別途行う話があったと思います。もし今年度シティプロモーションを行うのであれば、総合計画の中でも「市の考え方」を示しても良いのではないかとと思うのですが、いかがでしょうか。

[事務局]

シティプロモーション戦略については、今年度中に策定の段階まで進むわけではありません。パブリックコメントでいただきましたご要望、それから本審議会でご覧の方からいただいたご意見につきましては、関係課や職員に周知を行い、個別計画や事業を展開する際に、参考にさせていただきたいと考えています。

[委員]

パブリックコメントでは、どのように意見を募ったのでしょうか。パソコンやスマホですぐに意見を提出することができるのでしょうか。

意見提出者が9名ですが、性別と年齢が分かれば教えていただきたいです。また、9名で95件の意見の配分がどのようになっているかもお伺いしたいです。

[事務局]

パブリックコメントの周知方法は「広報いなざわ」とホームページです。ホームページに意見を提出する様式は準備していますが、任意様式です。提出方法はメールやファックス、郵送でも構いません。企画政策課に直接持参していただく形でも受け付けをしていました。

9名の内訳ですが、男性7名、女性2名です。

今回は、ご意見をいただく際に、お名前、住所、お勤め場所や学校名について記載していただき、年齢につきましては記載していただいておりますので、年齢区分につきましてはわかりかねます。

意見の配分ですが、95件のうち80件がお一方による意見です。他はお一方につき、1件または数件でした。

[委員]

第5次総合計画の概要版を拝見する限り、市民や勤労者の立場からして、なかなか読む気になりません。概要版はカラー印刷で10～15ページくらいになるとと思いますが、市民の方に配ってもよほど関心のある方でないとご覧にならないと思います。

前回のキャッチコピーの協議において、総合計画は誰のものかといった位置付けで議論が紛糾したように、「策定できて良かったね」で終わってしまうのか、本当に市民を巻き込んで実施するのが大事です。後者であるならば、A4サイズの2～3ページくらいで、新聞の見出しのように、今回の重要なポイントを絞って示さないと、絵に描いた餅で終わるのではないのでしょうか。ぜひ前向きに考えていただければと思います。

## (2) 稲沢市ステージアッププラン（本編）（案）について

= [事務局] =

【資料2「稲沢市ステージアッププラン（案）新旧対照表 <パブリックコメント後>」について説明】

[委員]

資料2の1ページで、総合計画案4ページの「10年」を「10年間」に変更するとのことですが、「5年」も同様に「5年間」と変更するべきではないでしょうか。

[事務局]

ご意見のとおり修正いたします。

[委員]

資料2の5ページで、総合計画案18ページ等の漢字表記を数字表記に変更するとのことですが、「1万人以上」を「10,000人以上」と数字で書くと、実数であるとの誤解を招くのではないのでしょうか。

[事務局]

「1万」のように数字と漢字が混在すると読みづらいのではないかと思います。ただし、例えば「1億」を数字で表記しますと、0がずらっと並び読みづらくなりますので漢字表記にしています。

数字で示しますと、実数のように見えてしまうとの懸念につきましては、そのとおりかもしれません。表記方法については内部で改めて検討します。

[委員]

資料2の28ページのシティプロモーションの推進についてですが、市制60周年記念で行う事業を指して重点戦略としているのではなく、10年間を見据えた取組みがされることについて重点戦略としているという理解で良いのでしょうか。

[委員]

シティプロモーションは1度行って終わりということではなく、市の知名度やイメージの定着を図っていくということだと思います。

[委員]

そのとおりだとは思いますが、どうしても「市制60周年」が目についてしまいます。とても目立つ感じがします。

[委員]

市制60周年に限定していないと分かるように表現を工夫することも考えられますが、事務局で何か考えはありますか。

[事務局]

来年度は市制施行60周年を迎えます。記念事業として、例えば、市のロゴマークを作成する、市民参加で1分間CMを制作する、市民の方々が主体となって実施する周年記念事業に対して助成することなどを計画しています。

60周年は人間に例えると還暦にあたりますので、生まれ変わるという意味もあります。60周年のイベントを契機として、一過性の事業とするのではなく、新たな本市の出発点になるという意味で「市制60周年など様々な機会を契機とし」と書いております。

[委員]

極端な言い方をしますと、「様々な機会を契機とし」とはありますが、シティプロモーションが市制60周年のときだけ取り組むようにも見えてしまいます。シティプロモーションは続けていくものだというニュアンスをどこかに加えた方が良いのではないかと思いました。

[事務局]

一過性のものという誤解を招かないよう、表現につきましては検討いたします。

[委員]

資料2の3ページで、総合計画案16ページの「超高層ビル」を「高層ビル」にしたとのことですが

が、変更したのはどのような意図でしょうか。超高層ビルの定義には、高さや階数について決まりがあるのでしょうか。

[事務局]

一般的に「超高層ビル」と「高層ビル」と表現する場合の明確な高さや階数については、場合によって使い分けされている資料も確認できます。しかし、調査しました限りでは、これ以上であれば「超高層」という具体的な数値などについては確認できませんでした。

現在、名古屋駅周辺で開発されているようなビルは「超高層ビル」だと思っておりますが、名古屋駅周辺開発による好影響を本市にも取り込んでいくという趣旨の部分ですので、どちらかというところ「超高層ビル」というよりは、「高層ビル」と表現することで、開発による発展を幅広く含む形に改めたものです。

[委員]

名古屋駅周辺のように、超高層ビルが建つことにポイントを置いているのではないということだと思います。土地需要やオフィス需要が高まることで建設されるのは、「超高層」だけではなく、「高層」もあると思いますので、両者を含めるのであれば「高層ビル」の表現になると思います。

### (3) 稲沢市ステージアッププラン（資料編）（案）について

= [事務局] =

#### 【資料3「市政アンケート調査結果 速報版」について説明】

[委員]

資料3の5ページの満足度の割合についてお尋ねします。「1 名鉄国府宮駅周辺の活気や魅力」では、「満足」「どちらかといえば満足」を合計すると21.6%です。ところが、次のページでは、満足度は30.2%です。概算してみると「わからない」と回答した人を除いた数字となるようです。満足度というのは、そのように算出するものなのでしょうか。

全体の1,022人中で「わからない」と回答した人が26.4%ですから、それも含めて満足度ではないのでしょうか。

[事務局]

例えば、「37 男女共同参画の推進」ですと「わからない」が60%を越えています。「満足」「どちらかといえば満足」「不満」「どちらかといえば不満」と答えていただいている方が全体で約30%しかおらず、「わからない」を満足度を算出する際の分母に含めると、他分野の満足度と比較して極端な差が生じてしまい、不正確になってしまいます。そのため、指標として用いることを考えますと、満足か不満かどちらかの意思表示をされた方を分母とし、「満足」「どちらかといえば満足」と答えていただいた方の割合を採用しております。

言い換えますと、「わからない」あるいは「不明」については、お答えいただいた「満足」「不満」の割合で按分しているものとして考えていただければと思います。そのようにしなければ、実態と

して市民の皆様が満足なのか不満なのか分からなくなります。ですから、「満足」「どちらかといえば満足」「不満」「どちらかといえば不満」と答えられた方の中で、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した方の割合を指標として採用したいと考えています。

[委員]

資料3の6ページの見出しを見ますと「満足評価者の割合」としており、先ほどのご指摘は確かにそのとおりだと思います。しかし、評価をどうするべきかは、これをどのように解釈するかだと思います。「わからない」と回答するのは別の次元の問題だと思いますし、そこに評価や解釈は書かれていません。これを回答する人がそれぞれ評価するという体裁になっています。

[委員]

「資料編」22ページの「市民インタビュー」に「不動産業者等」の欄があります。「名古屋へのアクセス性が魅力」とある一方で、「名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅周辺に限定」とあり、主要駅周辺に関する意見が多いと思われまます。

しかし、市民インタビューの不動産業者の意見と私の感覚とでは若干違う印象があります。昨日、私は用事があって松下地区へ行ったところ、高御堂小学校の児童が下校途中でした。高御堂小学校は1学年1クラスしかない学校です。高御堂小学校区には県営住宅があり、外国人の方が多く住んでいます。学校へ行くと外国人の子どもが日本人の子どもと一緒にクラスで勉強をされていて、私は良いことだと思いますが、PTAの方々からすると、できれば違う学校に行かせてやりたいという意見を聞いたことがあります。不動産業者に言わせると、どうやら小正小学校区のほうが駅に近い割には家賃も安く、地価も安定しているというのです。

ですから、これは何が問題なのかといえば、学校教育や地域市民のコミュニティの問題もあるのではないかと思います。もう少し地域の中に踏み込んでいただき、どのような意見があるのか、行政もよく観察していただきながら、差別のない地域のコミュニティづくりをしていただきたいと思います。

#### **(4) 答申(案)**

= [事務局] =

【資料4「答申(案)」について説明】

[委員]

先ほどから総合計画をどのように市民に伝えていくのかを考えていますが、本当に伝えることができるものなのか疑問が拭えません。約1年間、各委員の皆様が総合計画の策定に取り組んでくださり、前は事務局から本市は変わっていくという覚悟を語っていただいたとき、とても私は響きました。だからこそ市民に届いてほしいという思いがあります。もし時間が許すのであれば、アイデア出しや話し合いをしたいと思いました。また、答申案には1から4番までありますが、5番目を付け加えて、総合計画の内容を市民に伝えることを表記していただきたいと思います。



[会長]

答申後に委員の皆様から一言ずつコメントをいただこうと思っていますので、まずは答申案の議論を進めるということをお願いします。

[委員]

計画図書のボリュームが多いからこれでは読む人がいないのではないかという意見がありました。ボリュームが多いから良くないというわけではありませんが、このままであれば、なかなか読む気にならないのも事実だと思います。

市の各種行政施策は必要なことばかりですので、そうした意味では、総花的にならざるを得ないという議論は何度かありました。それはそのとおりでと思います。

しかし、そうは言いましても、向こう10年を見越して、総合計画では、市として特に何に取り組んでいくのかという姿勢も大事だと思います。「稲沢市ステージアッププラン」では、「Ⅲ プラン2027【総論】」の中に「Ⅲ-1 基本的な視点」があります。人口減少をはじめとした現状の確認があって、それに基づいて何を実行するかが次の「重点戦略」に繋がっていくわけです。内容がどうかという話は後戻りになりますのでしませんが、これはこれで形としては整っていると思うのです。

市民にはなかなか分かりにくい、伝わりにくいという意見がありましたが、「重点戦略」を前面に出してはどうでしょうか。本冊子がこれだけ分厚いとなれば、レイアウトだけで解決できる問題ではないかもしれません。ですが、この重点戦略の見せ方を工夫していただくと、かなり改善されるのではないかと思います。

それから、今回も第5次総合計画と同様に概要版を作成されると思いますが、そちらも同様の工夫をしていただけると、先ほどのご意見に関する改善策となるのではないかと思います。見ない人からすれば1枚のペーパーにしたとしても見ないのかもしれませんが、工夫することで少しは関心を引くことができるかもしれないと思いました。

また、土地利用方針についてですが、こちらは重点戦略に含まれておりません。これも一つの重点戦略なのではないかと私は感じております。

[事務局]

まずは土地利用に関するご意見についてですが、「稲沢市ステージアッププラン」本編の25～45ページまでのプランの総論部分については、各論の前提という位置付けをしています。各論の前提なので、26ページから「基本的な視点」として、年齢構成や財政状況等を示しまして、31ページからは「土地利用方針」を示しています。

「土地利用方針」は、あくまでもすべての施策の前提部分に該当します。「土地利用方針」を「重点戦略」に位置付けてはどうかというご意見ですが、「重点戦略」の36～38ページに示されている土地利用に関する取組みについては、「土地利用方針」で示される重要な部分を「重点戦略」で網羅しているものと考えております。

そして、計画自体のご意見につきましては、計画の内容を市民の方々に伝えていくことも大事なことはありますが、重要なことは計画を策定することではなく、計画に沿って実行し、市民が本市に住んでよかったと実感していただくことだと思いますので、まずはそちらに全力を尽くしたい

と思います。

また、本市は取組み内容や今後こうしたことに取り組むというPRが苦手ですが、可能な限り内外にPRをして、市の魅力を発信するとともに、まちの魅力を高めていくように計画を実行に移していきたいと思っています。

#### [委員]

答申案の2番について、文章の最後に「計画の着実な実施に努めること」とあります。先ほども、計画を実行に移してこそ意義があるという事務局の答弁もあり、別に「アクション（推進計画）」を策定するとのこと。ですから、「稲沢市ステージアッププラン」で示される「ビジョン」、「プラン」と「アクション」の整合性も大事で、各部門がそれぞれのミッションに基づいたものでないといけないと思います。例えば「計画の着実な実施」の部分を「計画とアクションの整合性を取りつつ」と書き添えるほうが、市としてしっかり取り組むことになるのではないのでしょうか。

10年間の計画はとても長く、前提が崩れると、この計画自体もきっと崩れてしまうと思うのですが、計画の修正が必要となった場合についても触れておいたほうが良いのではないのでしょうか。10年後、経済環境の変化などにより無理な計画でしたと反省だけで終わってしまわないようにするために、例えば、人口の予測が大きすぎた場合については「稲沢市ステージアッププラン」を修正できる仕組みにしておくほうが、確実な実行につながるのではないかと思います。

そして、シティプロモーションの強化について追記するのが良いのではないかと思います。前回のキャッチコピーについての協議では、「名古屋から10分の稲沢 変わります」と「ステージアップ 稲沢」で議論になったと思います。そのときには、シティプロモーションとして、「名古屋から10分」である本市が変わっていく気持ちを伝えられるのではないかと、その時は考えたのですが、決意として示すことが大事だと思いました。シティプロモーションに早急に力を入れて取り組むことを追加してはどうかと思います。

また、2番の1行目の最後に「常に都市間競争を意識するとともに」とあります。他市町村から本市に来ていただくための人の取り合いも一つの有力な方法ではありますが、出生率を上げるとか、望まれない妊娠でこの世に生を授けられない人たちを救済するとか、全体のパイを大きくすることも大事だと思うのです。「常に都市間競争を意識するとともに」というのはストレート過ぎる表現だと感じますので、文章を修正した方が良いのではないのでしょうか。

#### [会長]

「計画と実行の整合を取りつつ」という意見につきましては、2番の文末を「整合性を取りつつ着実な実施に努める」とすると現実的に少し難しいという気がします。そうした点を考慮して、事務局で代案を考えていただけるとありがたいです。

シティプロモーションについては、その内容がまだ出来上がっていないことからすると、それだけに特化しては書きづらいと思います。その代わり3番で「市民との情報共有を図りながら、協働によるまちづくりの推進」という文中に、少なくとも総合計画を市民に周知して、理解してもらうという努力は書いてあっても良いのではないかと思います。

そして、都市間競争についてはたぶん書いておきたいのではないかと思います。1番である程度ニ

ニュアンスが込められているのではないかと思います。また、1番で「名古屋圏」と「名古屋で」と表現があるのですが、「名古屋で働く人が」というのは「名古屋圏」でも良いのではないのでしょうか。名古屋市の人だけをターゲットに本市に転入するのではなく、例えば、一宮市の人でもいいわけです。名古屋市だけではない中部圏という意味では、「名古屋」に「圏」を加えるだけで大きな変更ではないと思いますがいかがでしょうか。

[事務局]

答申案の修正ですが、社会情勢や経済情勢など、外的な要因が変化した場合における計画の修正ができる仕組みについては、2番目の文章に「社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に捉えながら、計画の着実な実施に努める」としておりますので、ここで読み取っていただければと考えております。

また、委員の皆様方からご提言いただいております、本計画の推進、市民の方に計画の内容をお伝える、知っていただくという点につきましては、3番目の文章で示したいと思っております。修正案を検討させていただきます。

[会長]

「社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に捉えながら」というところに、必要に応じて計画を見直すというニュアンスは含まれていると思います。あるいは、進捗管理をしていくということかと思っております。

この後、答申案の承認を挙手でお願いするわけですが、それまでに答申案を確定させなくてはなりませんので、他にご意見いただければと思います。

[委員]

私も「名古屋圏」という言葉を入れたほうが良いのではないかと思います。以前も、名古屋市を基軸とする計画はいかがなものかというような議論もあったかと思うのですが、「名古屋圏における」という表現もありますので、私も「圏」を加えた方が良いと思います。

それから、本編の「6-2 防災・治水」の「①地域防災力の強化」で、「防災情報の提供や補助制度の啓発に努めて」と書いてあるのですが、「補助制度の啓発」とはどういうことなのでしょう。

[事務局]

補助制度等については、家具転倒防止や耐震改修への補助金交付の制度があります。

[委員]

「稲沢市が目指すまち」として「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」、「名古屋で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」とありますが、市が開発を優先すると宣言しているものと私は捉えています。

新しい時代への対応としてリニア中央新幹線を挙げられていますが、リニア中央新幹線を中心として大型開発を進め、その財源を確保する一案として公共施設再編についても書かれていますが、

学校や保育園など公共施設の統廃合を進めることは、東京一極集中を今まで以上に加速させ、地域経済の衰退に拍車をかけることになるのではないのでしょうか。

今求められているのは、地域循環型の経済社会への転換ではないかと思います。行政水準を高めていくことも書かれてはいますが、開発優先よりも、暮らしを豊かにする計画にすべきではないかと思います。人口減少を食い止めるために、リニアインパクトを取り込んで、名古屋駅周辺の再開発の進展に伴って、本市に住んでもらうために名鉄国府宮駅周辺の再整備を行うことを重点戦略としています。そして、人口の少ない周辺部では、公共施設の統廃合が進められるのであれば、ますます人が住まなくなると思います。これでは、暮らしや福祉が切り捨てられることになるのではないのでしょうか。市のどこに住んでも元気に暮らせることが自治体の使命ではないかと考えます。

重点戦略の「2) 若い人が安心して子育てできる環境整備」で「官民連携による保育サービス等の充実」と書かれていますが、小規模保育事業や認定こども園は、基準が緩和されてこれまでより少ない保育士の人数で運営できるなど、質の低下につながる危険性があると考えます。子育て支援の充実には、行政が責任を持って保育園を整備すべきだと思います。

安易な民間頼りの子育て・教育施策を進めることは施策の大きな後退になるのではないかと思います。「子育て・教育は稲沢で」というのであれば、特に保護者は質の向上を願うと思いますので、そうした内容を踏まえた施策にするべきだと思います。本計画に対する答申に対しましては、私は反対でお願いします。

[会長]

ただ今、多方面でご意見をいただきましたが、何か関係することがありましたら、他の方からもご意見をお願いしたいと思います。

ご意見がないようでしたら、文言の修正について、事務局で検討していただいた結果をお聞きしたいと思います。

[事務局]

皆様方からいただいたご意見を踏まえまして、修正案を読み上げさせていただきます。

まず、1番目です。「名古屋圏」とさせていただくこととなりますと、2行目の「『市民が、将来もずっと暮らし続けるまち』及び『名古屋で働く人が、暮らしの場として憧れるまち』」となっていますが、それぞれの鍵括弧を削除させていただきまして、「市民が将来もずっと暮らし続けるまち及び名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」と改めさせていただきたいと思います。ここは本編の「まちづくりのコンセプト」から文章を引用していますので、例えば、ご提案どおりに直すこととなりますと、本編の本文自体を修正する必要があります。こちらは皆様方の答申に対します留意点ということですので、このような案をご提案させていただきます。

次に、3番目です。「行政情報の公開や提供を積極的に行い」のあとに、「また、計画の説明と周知に努め」と加える事務局の修正案をご提案させていただきたいと思います。「稲沢市ステージアッププラン」を市民の方へ積極的に説明をし、概要版も簡易で見やすい工夫をするなど、計画の周知に努めるようにしたものです。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

[会長]

以上の修正案につきまして確認を取りたいと思います。

先ほど申しましたように、承認される委員は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

(賛成者多数。反対者2名)

[会長]

ありがとうございます。賛成多数ということで承認をいただきましたので、修正案を答申書といたします。それでは、会長である私が答申書に署名の上、市長に提出します。

答申を行うに当たり市長の出席を求めます。準備が整うまでしばらくお待ちください。

(市長入室)

### 3 答申

[事務局]

準備が整いましたので、答申をお願いします。答申にあたりましては、秀島会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

[会長]

答申するにあたりまして、当審議会を代表しまして一言あいさつを申し上げます。

昨年8月26日に大野前市長より諮問を受けました第6次稲沢市総合計画につきましては、本日、答申する運びとなりました。このことは当審議会委員の皆様のご慎重かつ熱心な御審議の賜物でありまして、厚く御礼申し上げます。

第6次稲沢市総合計画は大きな時代の転換期に策定する計画であったと思っております。計画期間の終期である平成39年にはリニア中央新幹線の一部開業を控えているということ。これまでの右肩上がりの経済成長ではなく、人口減少や超高齢化、老朽化が進む公共施設等の対応を迫られる時代であるということ。

こうした社会動向を踏まえつつ、都市間競争に打ち勝ち、市の認知度向上や定住促進に取り組み、市の長をいかに打ち出していくのかを委員の皆様からご議論いただき、重点戦略を柱とする総合計画案がまとまったものと思っております。

苦しい社会情勢の中でも持続的な行政運営が求められます。今回の総合計画では、名称も「稲沢市ステージアッププラン」としており、ステージアッププランの意味に込められた、新しい時代へ対応し、行政水準を高め、まちづくりにおける市民との関わり合いの質の向上に全力を尽くしていただきたいと思っております。本総合計画における取組みが着実に実行された暁には、今よりも一つ高い次元へ到達した稲沢市へと変貌しているものと想像いたします。

本市にとりまして、本総合計画が市政運営の羅針盤として活かされることを願うとともに、計画の実施にあたっては、社会・経済情勢の変化にも弾力的に対処されたいと思っております。「ステージアップ 稲沢」をスローガンに、市民と行政が一丸となって、コンセプトでもあります名古屋圏におけ

る本市の存在感向上に向けて取り組まれることを切にお願いいたしまして、答申いたします。

[事務局]

ありがとうございます。それでは、答申をいただきましたので、加藤市長からあいさつを申し上げます。

[市長]

皆様こんにちは。まずは委員の皆様におかれましては本日まで9回にわたり、審議会において慎重審議を賜りまことにありがとうございます。また、本日は大変熱の入った議論をしていただいたとお聞きしております。

第6次総合計画の諮問は、大野前市長がまだご存命のときでした。当時、私は議長として議会を代表して本審議会に参画しておりましたが、その後、選挙で市長という大役を受けることになりまして、総合計画の審議も時間が延びて委員の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、まずもってお詫びを申し上げたいと思います。

また、約10カ月以上の長きにわたって、委員の皆様にご議論をいただきましてありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

先ほど秀島会長より答申をいただきました。この答申書に本市が留意すべき4つの項目があります。それぞれが私としても心にしみており、今後の市政運営の基本に据えていかなければならないと考えています。

皆様ご存じのように、社会の状況は刻々と変化をしています。10年間という非常に長い期間を見通して計画を立てるということが、今この時代に果たしてできるのだろうか、私はその点に疑問を覚えるところがあります。科学技術の発展は日進月歩でありまして、とても10年先がどうなっているか見通すことができないような状況であると思っています。

奇しくも本計画の最終年度であります平成39年は、リニア中央新幹線の東京・名古屋間が開通する年であり、名古屋圏における本市の存在価値を高めようと皆様にご議論いただいたわけですが、それに対しましても委員の皆様がそれぞれのお考えをお持ちであることは十分承知をいたしております。しかし、限られた地域の中で本市の存在価値を高めていこうとすると、少子高齢化、出生率はなかなか好転しない状況ですので、どうしても都市間で人口を奪い合うような結果になることも明らかです。

こうした中で、市の価値を高めていく努力を、答申にもありますように市民の方と情報共有を図りながら、協働によるまちづくりを進めていこうとするものです。まずは、情報の出し惜しみをすることなく、情報をしっかりと提供して、そして情報を基に、市民の方と一緒に議論をしていけるような市政を築き上げていきたいと考えています。

いずれにしても、10年間の市の最上位計画が委員の皆様のお力添えをいただきながら策定できました。今後は本計画の基本的な考え方を守って、いろいろな意味で一步でもステージアップできるよう取り組んでまいります。今回お骨折りをいただきました委員の皆様におかれましては、今後とも本市に対しましてご支援を賜りますようお願い申し上げます、私のあいさつといたします。本当に長い間ありがとうございました。

[会長]

委員の皆様には多岐にわたるご意見をいただきまして、総合計画を策定することができました。こうした中で、お気づきの点、あるいは、今後市政を進める上でのご意見など、一言ずつコメントをいただきたいと思いますが、その前に修正のお願いが1点あります。先ほど答申案では、「名古屋で働く」を「名古屋圏で働く」に書き換えるという提案をしました。それを総合計画の本編にも反映してはどうかと思います。具体的には本編の18ページ「名古屋で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」の見出しの部分と、19ページ「まちづくりのコンセプト」の中に同様の見出しがありますが、ここを「名古屋で」を「名古屋圏で」と書き換えたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

[会長]

ありがとうございます。ご承認いただきましたので、事務局におかれましては、本編もそのように書き換えていただきますようお願いいたします。

それでは、先ほど申しましたように、一言ずつコメントをいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

[委員]

私はこのような議論の場に参加させていただく機会が初めてだったのですが、議論の中で、皆様のお考えなどを学ぶことで、とても勉強になりました。

とても大きな計画だと思いますので、私自身もこれから注目するとともに、どういった形で貢献していけるかについても日々考えていきたいと思っています。また、この計画がたくさんの方に共有されるべきだと思っていますので、そうした市の取組みについても期待したいと思っています。

[委員]

長期間、審議させていただきましたが、絵に描いた餅になっては何にもならないと思います。この後のアクション(推進計画)は、前後期5年間に分けて進行管理されるわけですが、具体的にどのような形で計画が実現されていくのか、ぜひともオープンにさせていただき、目に見える形で公表していただいて、実行に移していただきたいと思っています。

[委員]

10か月間お疲れ様でした。そして、とてもお世話になりました。ありがとうございました。

私は審議会の委員として参加して良かったと思っています。とても勉強になりましたし、行政はこうして運営されているのだということや、市がやらなければいけないことはたくさんあることを知り、とても良い経験をさせてもらったと思っています。

委員の中で、一番年齢が若いのは私だと思います。本計画に自分が委員として関わったからには、この先10年間しっかり意思を持って追いかけていかなければならないと思っています。審議会でも第5次総合計画を振り返ってどうだったかという話題が何度かありました。第6次総合計画を途中

で振り返ることも考えていただけたら嬉しいです。

[委員]

本当に長い間、皆様お疲れさまでした。大変お世話になりました。個人的には非常に良いプランができたのではないかと考えています。これから、本プランをどのように活用していくのか、実際に行動してどんな結果を得られていくのか。それ次第で本プランの価値がさらに高まるのではないかと思います。

地域の皆様、行政の皆様が目を光らせていただいて、今回のプランが最高のものになるように努めていただければと思います。我々もしっかりと見つめていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

[委員]

長期間本当にお疲れさまでした。私自身も議員として、皆様の10か月の苦労や真摯な姿勢を無駄にしないよう、計画の現実化に向けてきちんと管理・推進していきたいと思っています。自分でできる限りの範囲で全力を尽くしてまいりますので、ご理解、ご指導いただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

[委員]

日々刻々と変わる社会情勢の中で、一議員としてさらなる「ステージアッププラン」完成に向けて、努力していく覚悟です。頑張ります。

[委員]

皆様ありがとうございました。いろいろな方と意見が交換できて、とても楽しかったです。これから行政がアクションを起こしてくれますが、私も自分の計画を作って行動に落とし込んでいきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

[委員]

いろいろ私なりの意見を言わせていただきましたが、ここに住む人たちが安心して暮らせるまちづくりができればと思っています。自治体には、住民福祉の増進が役割としてあります。私は開発よりも、暮らし優先のまちづくりに引き続き頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

[委員]

本当にこの10か月間、皆様お世話になり、ありがとうございました。私自身、審議会に参画させていただきまして、直に市を支えてみえる方など、いろいろな方の意見を直接聞いたことが、本当に幸せだったと思います。

真剣に策定した計画が絵に描いた餅にならないように、進捗状況を市民に示しながら、情報を共有したいと思います。頑張ります。ありがとうございました。



[委員]

議論の中でいろいろと苦言を呈すような意見も言わせていただきましたが、そもそもこのような審議会は、いろいろな立場の人たちがそれぞれの立場で意見を交わし合うのが本来のあるべき姿であると思いますので、そうした意味では少しでも役割を果たせたのではないかと考えています。今後ともよろしくをお願いします。

[委員]

皆様お疲れさまでした。私も初めてこのような会議の場に参加させていただき、皆様の意見をお聞きして大変勉強になりました。

10年後に私たちが立てた計画が実現して、従来から住んでいる人はもちろん、新しく本市にお越しいただいた人にとっても、幸せなまちになればと思っています。どうもありがとうございました。

[委員]

地元の一住民としては、向後10年どのような計画を持って、どのような方向づけをするかが重要であります。審議会に参画した重責は大変大きなものでしたが、もっと大きな提案をして、もっと活発に意見が出て良かったのではないかと考えております。計画を実行することは、大きな仕事ではあると思いますが、経済状況も変化し、明日、明後日、1年後にどう変わるかは分かりません。時勢に合わせて、適材適所、各部署で柔軟に対応していただきたいと思います。

こうして答申ができたことにつきましては、皆様のおかげであると感謝しております。

[委員]

今思うとこの10か月間は、あっという間に過ぎてしまったというのが実感です。私自身もステージアップしていこうという意味合いで、「ステージアップ 稲沢」をスローガンに推しました。最終的に「ステージアップ 稲沢」が採用されたことは良かったと思っています。

[委員]

本日答申に至るまで本当にお疲れさまでした。

計画を策定して終わりにならないようにしなければならぬと私も感じております。行政職員の皆さんが一番大変かもしれませんが、実行していただくようお願いをしたいと思います。

一市民として、私もいろいろな場面で、一緒になって策定した「稲沢市ステージアッププラン」が実現できるようにお手伝いをしたいと考えています。よろしくをお願いします。

[委員]

10か月間、各委員の皆様の専門的なご意見をいただきました。一つのまちを築き上げていくのは市民が中心ではありますが、そこに産業界の方や行政の方、そして我々など、いろいろな立場の人たちが計画を少しでも前進できるように、頑張っていかなければならないと感じております。ありがとうございました。

[委員]

市は答申に沿ってしっかりとご努力いただきたいと思ひますし、私自身も事業者として、また一市民としても、共有している目的達成のために一緒に頑張っていきたいと思ひています。どうかよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

[委員]

この場にも多くの市民の方がいらっしゃると思ひますが、私も長年の市民であり、本当に住みよ、よりよいまちになってもらいたいと心から思ひて、審議会に参加させていただきました。

私は答申の承認には、挙手しませんでした。計画に書いてあることはもちろんすべて大事なことです。しかし、向こう10年を見越した計画策定の審議会ということで、少子高齢化など、さまざまい勢いの社会情勢の変化の中で、総花的な計画で答申して本当にいいものかと疑問に感じ、挙手しませんでした。

ですが、いずれにしても答申がなされました。先ほども申し上げましたとおり、計画に示されていることは全て大事なことであり、実行していただきたい内容ですが、市長をはじめ、行政の方は大変だと思ひます。よりよいまちにしていただくように、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

[委員]

今回、子育て支援の立場から審議会に参加させていただき、私自身もとても勉強になりました。今後、5年後、10年後、必ず本市がステージアップできるように、そして、現在住んでいる市民や子どもたちのためにも、よりよいまちづくりがされることを希望します。ありがとうございました。

[委員]

本市がこれから発展するための将来の目標ができたわけですが、これを具体的にどう進めていくのかがこれからの問題だと思ひます。市長をはじめ、行政の方の手腕に期待したいと思ひます。我々もご協力をさせていただきたいと思ひます。

特に防災に関しましては、防災センターの新設も含めまして、防災力の強化をよろしくお願ひしたいと思ひます。

[委員]

市長や私ども名古屋鉄道、私個人もそうですが、共有できる危機意識に対して、しっかりとした答申ができたのではないかと思ひています。

答申の文中に「実現に努めること」、「実施に努めること」、「推進に努めること」という形で答申されました。「努める」という点から、計画を実施するという意識はしっかりと持っていたいただいていると思ひております。

しかし、実施するとなれば、行政のリーダーシップが非常に大切になると思ひます。これからは、市のリーダーシップに期待し、名古屋鉄道としても協力したいと思ひています。ありがとうございました。

[委員]

本市の今後を決めるような会議に参画させていただきまして、ありがとうございました。とても勉強になりました。

職業上、暮らしやすさを考えると「緑」がキーワードだと思っています。広い農地がありますので、うまく活用してまちづくりができれば良いと思います。個人的な意見ですが、名鉄国府宮駅前に市民参加の大きな産直市場ができればと思っています。ありがとうございました。

[委員]

この審議会が始まって数か月間、仕事を通じて接した方々、数百人とお話をして気付いたのですが、審議会や総合計画の存在を知っている人は誰一人いなかったということが、非常に残念でした。

これからも仕事の関係ではありますが、市内にいる限り、接したお客さんに対して、こうした内容を紹介していきたいと思います。どうもありがとうございました。

[委員]

皆様いろいろとお世話になりました。私なりの理解では、将来に向けて人類が経験したことがない時代が来る、負担を分け合うなどきれい事で済まされない時代が来ることを覚悟しておりまして、民間企業の立場で、あるいは生活者の立場で、いろいろと発言をさせていただきました。

これまでも市の職員や行政の方とはおつき合いがありましたが、これまでの保守的な思考から「稲沢市ステージアッププラン」は、思い切った内容に変わりつつあると思っています。

私たち民間企業では、PDCAを回すことを指示されます。第6次総合計画は、まだplanの段階でありますので、do、check、actionについて、私の立場で携われる部分に関わっていきたいと思います。引き続きよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。

[委員]

いろいろと発言させていただき、委員の皆様にご迷惑をおかけしましたことは、申し訳ありませんでした。子ども会では、現在、大学生や社会人、シニアリーダーまでが団体にいます。市がどのようなことに取り組んでいるのかを、小学校の低学年から大学生まで、事あるごとに説明していきたいと考えています。

これからは、今の子どもたちが主役になる時代になりますので、次代に引き継いでいくことが私たちの役割だと思って審議会に参加し、改めて総合計画を見直させていただきました。本当にありがとうございました。

[委員]

本市のステージアップを目指して、いろいろな議論をしてすばらしい計画が出来上がったと嬉しく思っています。

答申でも示されたように、厳しい財政状況の中で計画を進めることは非常に困難ではないかと考えられます。これだけ少子高齢化が進展する中で、財源が確保できるのか。あるいは、財源を増やす方法をどのように考えるのか。これから計画を進める上で大変重要になるのではないかと思います。

す。費用対効果を考えて、ボランティアやNPO団体などの協力を得ながら、この計画が遂行されることを祈っています。長い間ありがとうございました。

[委員]

皆様 10 か月間お疲れさまでした。

私は市長に就任した加藤委員の後任として、遅れて審議会に参画しました。副会長を拝命し、会長の足を引っ張ることがないよう考えておりましたが、本日、答申を迎えることができ感謝しています。これからは一議員として計画の実現に向けて努力をしていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

[会長]

皆様どうもありがとうございました。最初は委員の人数が多いと感じていたのですが、どなたからも活発にご発言いただいたことが今日に至ったと思っています。それぞれのお立場から有意義なご意見をいただき、どうもありがとうございました。

#### 4 その他

[事務局]

その他として、事務局より報告事項がございます。

本年度からは、プラン 2027 で示した施策に対応する具体的な事業を示すため、前期推進計画にあたりますアクション 2022 を策定しております。10 年間を見据えつつ、平成 30 年度から平成 34 年度までの 5 年間において、特に重要な事業をお示しし、コンセプトの実現に向けた稲沢市ステージアッププランの推進を図ってまいります。

また、本計画の図書及び全戸配布予定の概要版を今年度中に印刷いたします。本計画の図書につきましては、前期推進計画でありますアクション 2022 の図書と併せて、委員の皆様へも配付する予定でございますので、よろしくお願いいたします。

[会長]

委員の皆様から何かあればご発言をお願いします。

特に何もなければ、以上をもちまして、本日の議事は終了いたします。委員の皆様におかれましては、活発にご発言いただきありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

[事務局]

ありがとうございました。それでは、最後に篠田市長公室長よりあいさつ申し上げます。

[市長公室長]

昨年 8 月の第 1 回会議から、年度を跨ぎまして約 1 年間にわたり、第 6 次稲沢市総合計画の策定にご尽力賜りまして誠にありがとうございました。おかげをもちまして、稲沢市ステージアッププランの根幹部分であります基本構想及び基本計画の策定まで辿り着くことができました。

市長も申し上げましたとおり、稲沢市ステージアッププランを実現するためには、強い決意を持って取り組んでいくことが重要です。現在、策定を進めておりますアクション 2022 による事務事業の進行管理につきまして、「ステージアップ 稲沢」をスローガンに、全市的に取り組んでまいります。今後とも市政に対しまして、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

[事務局]

以上を持ちまして、第 9 回稲沢市総合計画審議会を終了いたします。本日はご出席いただき誠にありがとうございました。